

図書館かがわ

—香川県立図書館報—

第139号

2023年6月



—はじめての囲碁—

—わくわくかみしばい会—

—子ども読書まつりを開催しました—

「子ども読書週間(4月23日～5月12日)」にあわせて、本や読書に親むことはもちろん、行事を通して図書館を身近に感じてもらえるよう、様々な内容の行事を開催しました。



—あなたもアーティスト—

中学生といっしょにすてきな革の作品をつくりました。



—子どものためのクラリネット・コンサート—

● この本オススメです！ ●

“読む”という動作が効いてくる本

本を読むときの動作を思い浮かべてみてください。

片方の手でページをめくり、もう片方の手はページをずらすようにして小口(本を開く側のこと)を押さえていると思います。この時、小口に絵が浮かび上がる面白い本があります。

このようなページをずらすと絵が現れるしかけ「小口絵」は、18世紀にイギリスで生まれました。今回は、「小口絵」を現代風にアレンジした本を2冊紹介します。

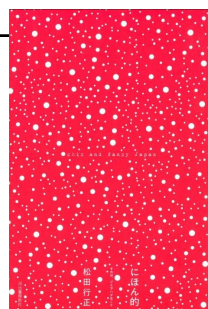


『世界のサメ大全』
めかぶ／著・イラスト
田中 彰／監修
(SBクリエイティブ)
請求記号:4875/M16

「サメ沼」にどっぷりつかった著者がサメについて味のあるイラストとともに熱く解説している図鑑です。
小口絵は、ページを右にずらすと勇ましいサメが、左にずらすとなんだか不憫なサメが現れます。

日本と他国の文化を比較してその違いを楽しみ、「にほん的」ということについて考える本です。

小口絵は、『信貴山縁起』の「剣の護法童子」がふんわりと浮かびあがるようになっています。



『にほん的』
松田 行正／著
(河出書房新社)
請求記号:36150/M38

新任図書館長あいさつ

県立図書館が現在の高松市林町に移転して30年が経過しようとしています。この間も、当館は、本県における中核図書館として、また、利用者の皆さんに幅広い資料を提供することを使命として、日々運営を続けてきました。

一方で、この3年間の新型コロナウイルス関連の各種行動制限は、館の運営にも大きな影響を及ぼし、入館者数等の利用統計にも表れています。しかし、それも今年5月には、ようやく大きな転換期を迎え、これからはアフターコロナ時代の新たな歩みを進めることができる、と期待しているところです。

私が当館で勤務させていただくのは今回が3度目となります。最初に着任したのは移転閉館直後の平成6年6月で、同僚の職員と共にうず高く積もった新規登録票を懸命に処理し、毎日カウンターで慣れない接客に精を出しました。私の拙い対応にも、利用者の皆さんから励ましや叱咤激励の声をいただき、成長することができました。館の運営形態は当時とは少し変わりましたが、利用者サービスの基本に変わりはないものと思っています。

私たちの現代は、豊かであると同時に、目標やプロセスが多様化し、生きて行くのが難しい時代です。それでも、子どもたちは未来に向かって、大人はそれぞれのステージで、好奇心を持ち、答えを求めて、新たな知識を希求し続けるでしょう。県立図書館は必ずやそうした営みの一助になると思います。

私共スタッフ一同、利用者サービスの向上に取り組んでまいりますので、どうか利用者の皆さんには、変わらず図書館を応援していただければ幸いです。

香川県立図書館長 市原 誠

行事報告

●JPIC読書アドバイザーの児玉ひろ美さんを講師にお招きし、子どもの発達にあわせた絵本の選び方やおはなし会のプログラムの組み立て方を学ぶ講座を開催しました。

1月24日(火)「ブックトーク オンライン講座」

1月25日(水)「子どもと本をむすぶスキルアップ講座」

講座1「読み聞かせ～発達に応じた絵本を選ぶには～」

講座2「おはなし会のプログラムの組み立て方～子どもがより楽しめるおはなし会へ～」

●香川県環境森林部みどり整備課(現在の森林・林業政策課)と共同で

以下の行事を実施しました。

2月25日(土)「香川の木と森 魅力発見・体験ひろば」

2月23日(木・祝)～26日(日)「モクモクおもちゃ広場」



令和5年度より「図書館かがわ」の発行月を変更しました。

編集・発行 香川県立図書館 <https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>
 〒761-0393 高松市林町2217-19 (香川インテリジェントパーク内)
 TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607